

令和6年度 第6回鳥取大学経営協議会 議事要旨

日 時 令和7年1月29日(水) 13:32 ~ 15:48
会議方法 対面会議(オンライン併用(Google Meet))
会 場 事務局棟3階 第1会議室
出席者 (学外)中島, 林田, 平井, 宮崎, 吉岡, 渡辺の各委員
(学内)中島, 河田, 原田, 山口, 三木, 藪田, 坂本, 武中の各委員
内田監事, 足立監事
陪席者 後藤副学長, 岡田副学長, 安延副学長, 川村副学長, 香川副学長,
岸本地域学部長, 景山医学部長, 明石農学部長

議事要旨の承認

前回(令和6年11月27日開催)の議事要旨を承認した。

議 題
なし

報 告

1. 令和7年度運営費交付金予定額の概要

資料1に基づき, 令和7年度運営費交付金予定額の概要について報告があった。

— 委員からの主な発言と本学の対応 —

◇委員より, 鳥取大学が所属するグループ群について質問があり, 全国の国立大学を規模や附属病院の有無などでグループ分けが行われている旨説明があった。

◇委員より, 科学研究費補助金の獲得件数・獲得額の伸び率が向上した要因について質問があり, 申請書のブラッシュアップ支援体制の構築や全学での周知等, これまで行ってきた対策が成果につながってきている旨説明があった。

2. 令和5事業年度における剰余金の翌事業年度への繰越にかかる承認

資料2に基づき, 令和5事業年度決算剰余金について, 文部科学大臣の繰越承認を受けたことについて報告があった。

3. 令和6年度国の補正予算対象予定事業

資料3に基づき, 令和6年度国の補正予算対象予定事業について報告があった。

4. 令和5年度財務レポート

資料4に基づき、令和5事業年度の財務レポート〈プレミアム〉の作成について報告があった。

討 議

1. 鳥取大学の研究イノベーションによる地域貢献について

資料5に基づき、本学の研究イノベーションが地域貢献につながっている取組について説明があり、説明後、各委員との意見交換が行われた。

— 委員からの主な発言と本学の対応 —

◇委員から、スタートアップ支援において起業を支援する仕組みや環境整備は大変重要なことであり、自治体や企業、金融機関など地域の協力先及び大学自体が持つ資源を整理し活用できる共同体を構築するとともに、地域の具体的な課題解決を目的にするなど明確な起業の目標設定が必要ではないかとの意見があった。

◇委員から、鳥取出身の起業家と接する機会や地元の研究施設を見学させるなど学生等に起業への関心を高める働きかけはどのようなことを想定しているのか質問があり、本学OBの起業家や世界的研究者などを講師としたセミナーを複数回実施する予定である旨説明があった。

◇委員から、ダイキン工業との連携は、様々な健康問題解決につながり、今後更に発展していくことを期待しているとともに、健康分野以外にも広くニーズがあるので大学全体で連携を深めていっていただきたいとの意見があった。

◇委員から、人口最小県である鳥取県ならではの地域課題に大学のテクノロジーを利用して解決できるように、地域学部をはじめ大学全体で連携を強化いただき、地域に根差した研究を推進いただきたいとの意見があった。

◇委員から、地域からの多様な要望に応えられる組織になるよう期待しているとの意見があった。

◇委員から、医学部や附属病院を中心とした研究を全学的に推進することで更に発展できるのではないかととの意見があった。

そ の 他

資料6に基づき、最近の本学の主なトピックスについて説明があった。

資料7に基づき、令和6年度第7回を3月24日開催予定である旨説明があった。